



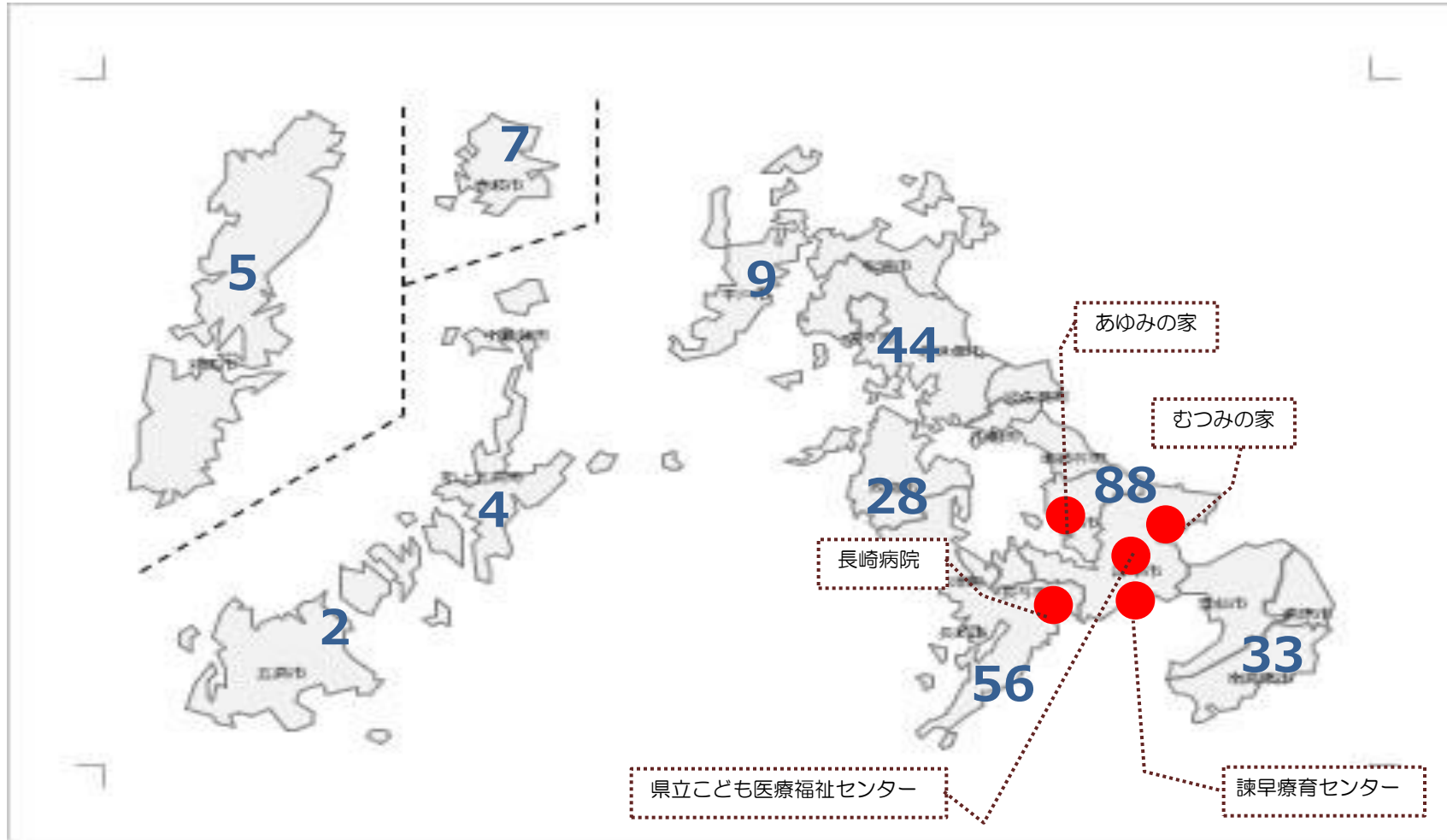
長崎県における 医療的ケア児等の災害対策 ～県内における避難訓練の実施について～



長崎県医療的ケア児支援センター
医療的ケア児等コーディネーター 井村弘子

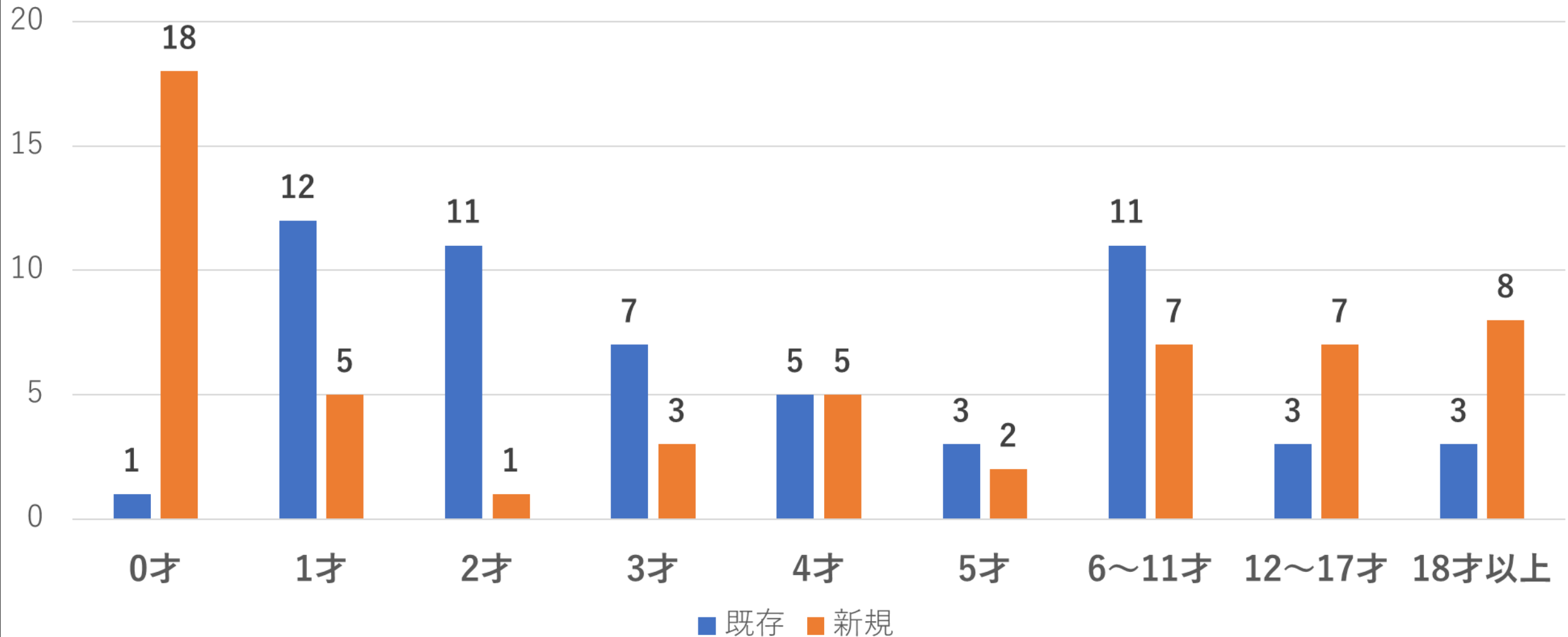
(R7.7.19 於:熊本大学病院)

長崎県内在宅医療的ケア児者数 (R3年度調査)



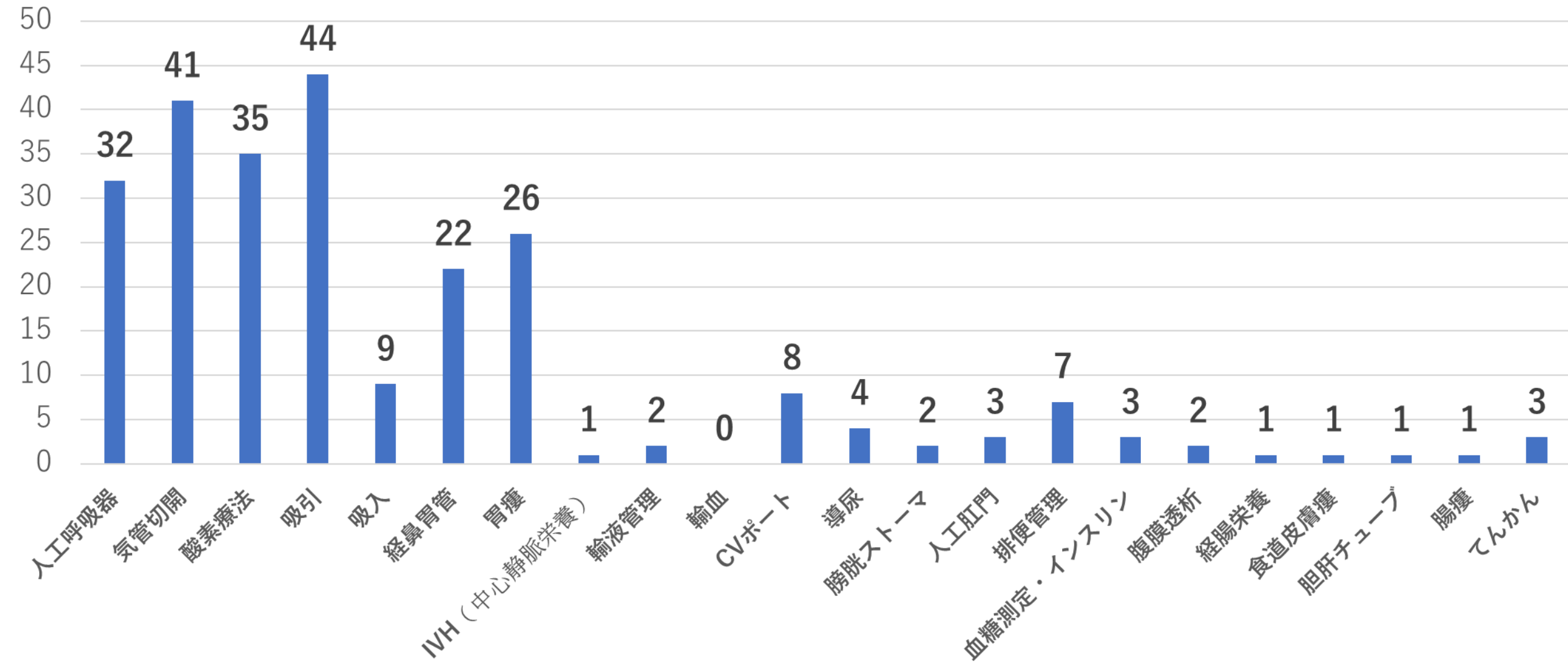
在宅医療的ケア児者 (医療的ケア児が18歳以上になった人も含む) : **276名**
在宅医療的ケア児 (18歳未満) : **185名**

支援の経過について
令和6年4月～令和7年3月
既存：56名 新規：56名



医療的ケアについて

医療的ケアが必要な児・者の割合（重複あり）



災害に関する相談内容

- 蓄電池（非常用バッテリー）について
- 避難場所について（一般、福祉）
- 個別支援計画について
- 個別避難訓練について
- ハザードマップの確認
- 台風時の情報収集について

* 長崎県では避難訓練を実施した市町は2自治体（21市町中）

大村市自立支援協議会

医療的ケア児支援特別部会

構成メンバー

- ・ 長崎県医療的ケア児支援センター・重症心身障害児入所施設（医師）
- ・ 長崎県医療的ケア児支援センター（医療的ケア児Co.）
- ・ 圏域保健所（保健師）
- ・ 訪問看護ステーション（所長・看護師）
- ・ 放課後デイサービス事業所（管理者）
- ・ 長崎医療センター地域連携室（看護師）
- ・ 行政（障がい福祉課、こども家庭課）
- ・ その他…市教育委員会、市幼児教育保育支援センター等

避難訓練の実際①(対象児)

- ・対象児 9才男児(特別支援学校在籍)

髄芽腫術後、水頭症、ウエスト症候群

気管切開(喉頭気管分離)、胃瘻

ADL全介助

家族構成…父・母・姉(11才)・妹(3才)・祖父母

家族2世代で専業農家

福祉サービス等…訪問看護、短期入所、居宅介護

放課後等デイサービス

さん

最終更新日令和6年5月 日 個別避難計画

【更新】毎年5月

この個別避難計画は、災害への備えや災害時の対応について、ご本人・ご家族及び関係者が相談し作成したものです。

災害はある日突然やってきます。この個別避難計画をベッドの近くに置き時々内容を確認して下さい。災害時は落ち着いて、決めておいた対応をとりましょう。

避難・入院する際もこの個別避難計画を必ず持っていきましょう。

氏名

代理人

注意が必要な災害 該当なし

自宅付近のハザードマップ | ☐洪水 ☐高潮 ☐津波 ☐土砂災害

地震に関する地域危険度 | ☐建物倒壊 ☐火災

大村市障がい福祉課 TEL 0957-20-7306

避難訓練の実際②(打ち合わせ)

(R6.8.5)

参加者

ご家族(父は不在という設定、母、姉、妹、本児)

市役所関係課 障がい福祉課

福祉総務課

こども家庭課

国保けんこう課

安全対策課

避難先施設「あゆみの家」(地域連携室、事務所等)

長崎県医療的ケア児支援センター

避難訓練の実際③ (R6.8.27)

1	【避難前】 あゆみの家へ連絡 (地域連携室、夜間は代表)	・ 今からあゆみの家へ避難したいです。 ・ 受け入れは可能でしょうか？ 家族〇人です。 ・ 自宅被害の状況は〇〇です。
2	あゆみの家からの返事待ち	あゆみの家の状況を確認後、受け入れ可の返事
3	NTT災害用伝言ダイヤルに録音	・ 子どもと家族の安否は〇〇。 ・ 自宅状況は〇〇です。 ・ 今からあゆみの家に避難します。
4	避難準備開始	・ 持ち出し品チェックリストにて確認 ・ 自家用車に持ち出し品積み込み ・ 本人、きょうだい児乗車
5	移動→到着	・ 車は玄関前屋根付きスペースに駐車 ・ 本人、きょうだい児を降車 ・ 玄関前カートに持ち出し品を移動 → 避難部屋へ移動

<<持ち込み荷物>>



<<避難訓練事前打ち合わせ>>



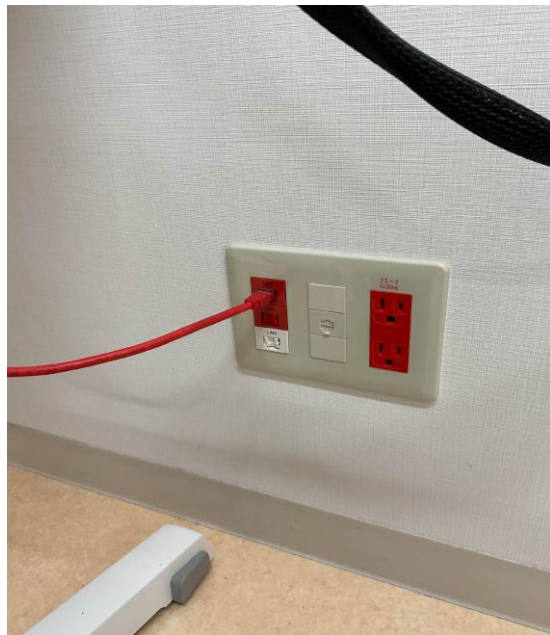
<<荷物積み込み>>



<<本人・バギー>>



<<非常用電源>>



<<避難訓練完了・確認>>



<<避難部屋・外来診療室>>



避難訓練の実際④（実施報告会及び反省会）

（R6.9.17）

参加者 ご家族

圏域保健所

特別支援学校

市役所（障がい福祉課、福祉総務課、こども家庭課
国保けんこう課、安全対策課）

訪問看護ステーション

訪問介護事業所

放課後等デイサービス（4か所）

地域生活支援センター（相談支援事業所）

あゆみの家地域連携室

長崎県医療的ケア児支援センター

医療的ケア児等の避難訓練を実施してみても…

- ・ 避難のタイミングはいつか？→避難先の安全性をどのように確認するか。
- ・ 持ち出し品の準備→持っていくものは？チェックリストで確認。
保護者ときょうだいの品物も3日程度は必要。
- ・ 避難経路をどうするか？→避難する場合には浸水想定経路は避ける。
- ・ 避難場所はどうするか？→一般避難所、福祉避難所はむずかしいではないか？
避難先が決まっていることが望ましい。
- ・ ご家族の声「実際避難訓練をやってみてこそわかったことがたくさんある」
- ・ 避難訓練の経験をそれぞれが他の方々に広げてくことが重要。